

【議会報告会】

- 資源物の持ち去り問題について、民間の回収ステーションの活用を促すとのことであるが、民間の回収ステーションから資源物が持ち去られることはないのか。
⇒議員 大抵の民間の回収ステーションには防犯カメラが設置してあることに加えて、民間の回収ステーションに資源物が出されると、民間企業の所有物となるため、より厳格に窃盗罪等の法適用がなされると思われる。
- 資源物が持ち去られるのはどのような場所が多いのか。
⇒議員 朝のごみ出しがひと段落ついた時間帯に、各自治会の集積場から持ち去られる。市としてもパトロールをしているが、職員が負傷した事象も発生しており、対策が難しいのが現状である。また、特定の地域で生じているのではなく、市内全域で資源物の持ち去りは発生している。
- 上下水道事業について、本市は現状では黒字経営であるが、今後収支が悪化した際に、他市のように民間企業に経営を委ねることもあるのか。
⇒議員 水道事業や給水人口の減少に伴い、収益が減少することが見込まれるうえ、今後老朽化した管路の更新が控えており、維持管理費は増加していくが、水道事業は市民が安心して生活するうえで欠かせないものであり、民間企業に経営を委ねることは性質上合わない。下水道事業については、技術職員の不足もあり、包括的民間委託の活用を模索していくことになるかと考える。
- イオンタウン泊に整備されるバス停留所について、公共交通の利用促進につながるため良いことではあるが、一方でイオンタウン泊にバスを乗り入れることで、国道1号がより渋滞するのではないか。
⇒議員 委員会でも議論したが、国道1号の渋滞問題は構造的な要因でもあるが、イオンタウン泊のオープンから少し期間を置き、バスの乗り入れを実施することで少しでも渋滞の緩和を図る。しかし、それだけでは効果が限定的であるため、イオンタウン泊として、従業員に対して公共交通による通勤を促してもらい、市としても買い物の際には公共交通を利用するように促す。

○ Park-PFIにより、中央緑地に飲食店等の店舗を設ける計画のようだが、多くの方に利用していただけることは良いことであるが、一方で来場者が増加すればその分国道1号の渋滞が悪化すると思うが、何らかの対策は講じるのか。

⇒議員 国道1号への出口交差点の右折レーンを延長する予定である。

○ 霞ヶ浦第1野球場について、ウエスタンリーグではなく、1軍の公式戦が実施できるような整備は行わないのか。

⇒議員 プロ野球の1軍の公式戦ともなると、照明やバックヤード、選手の安全な乗り入れ方法など、ハード面で求められる水準が高い。

○ 南部丘陵公園にイノシシの被害が発生しているが対策はあるのか。

⇒議員 鳥獣対策は商工農水部が所管であるため、担当部局に伝える。

○ 垂坂公園・羽津山緑地について、公園へのアクセス道路の整備の進捗状況を確認したい。

⇒議員 アクセス道路の整備に向け、用地買収などに取り掛かっているものの、国の補助金の交付が十分に行われていないこともあり、あと2年程度期間を要する見込みである。

○ 国道1号金場交差点の交差点改良の見込みはどうか。

⇒議員 現在歩道と共同溝の整備を行っており、富士町交差点付近までは拡幅する。また、三重とこわか国体の開催も控えていることから羽津町交差点付近の拡幅も急務である。

【シティ・ミーティング】

《テーマ：身近なごみ問題全般について》

○ ごみの分別を調べようとする、例えば、「ウェットティッシュ」を調べようとした場合、「ティッシュ」では出てこない。曖昧な単語でも検索できるとより分別がわかりやすくなるのではないか。

⇒議員 確かに曖昧な単語で検索できるようになるとより分別がしやすくなると思う。スマートフォンのごみ分別アプリ「さんあ〜る」も分別する際に便利であるため、より多くの人にご利用いただきたい。

○ 資源物の持ち去りについて、居住する地区では当番制で見張り役を設けているが、住民の負担が重く、負担軽減が図れるシステムにできないのか。また、共働き世帯であるため、仕事で忙しいとごみ出しの時間にごみ出しができないことがある。

⇒議員 資源物の持ち去りについては、今定例月議会においても委員会として議論しており、容易に解決できない課題と認識している。そのうえで地域の皆さまの協力が必要であるため、今後とも協力を賜りたい。また、ごみ出しの時間帯については、市ではなく各自治会で決めているため、自治会に相談してほしい。

○ 資源物の持ち去りについて、法的な対応はどのような状況か。また、罰則規定はないのか。

⇒議員 市では過去に告発に至った悪質な事案はあるが、法的な対応も容易ではない。また、罰則規定はあるが、抑止力になりえていない。市では集積場に設置する鍵を材料支給するなど支援を行っているほか、他市の事例であるが住民が自主的に行う資源物回収に対する補助を行う制度は参考になると考える。

○ 四日市市クリーンセンターを見学してきたが、きれいな施設であり、ごみ出しもしやすくなったため、他市に誇れる施設ではないか。

⇒議員 ご意見として承り、担当部局にも伝える。

○ 四日市市クリーンセンターではごみ処理過程を活用した発電を行っているが、他市であるような焼却による発熱を利用した温泉や企業から排出されるごみを市が引き取り市の歳入とする考えはないのか。

⇒議員 計画段階では焼却熱を利用した温泉という検討案もあったが、現在の形になった。また、事業者が排出するごみは市では引き受けていない。

○ ごみステーションにかける黄色の網は市が各自治会に対して行っている補助の対象か。

⇒議員 材料支給として補助している。

○ 高齢者のごみ出しについて、困っている高齢者に救いの手を差し伸べようにも、個人情報に壁となり、どこにどのような方が居住しているか不明であり、対応が困難ではないか。

⇒議員 個人情報保護の観点から難しい側面もあるが、先日の羽津地区の防災訓練では、個人情報に配慮しつつも、災害時に高齢者の情報が自治会内で共有できるように、

新たに取り組みを始めたところである。

○ 県外出身であり、県外の自治体を訪れる機会が多いが、他の地域と比較すると、本市はまち中にごみが落ちているように思う。

⇒議員 中心市街地では飲食店の経営者らがまちなかでごみ拾い活動をしている事例もある。市民の皆さまとともにクリーンなまち四日市を目指していきたいと考える。